



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年10月31日

上場会社名 株式会社 鶴弥 上場取引所 東 名
 コード番号 5386 URL https://www.try110.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴見 哲
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当社長室長 (氏名) 角森 一夫 TEL 0569-29-7311
 四半期報告書提出予定日 2019年11月6日 配当支払開始予定日 2019年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,436	9.6	212	131.4	218	117.0	145	141.0
2019年3月期第2四半期	4,048	△0.3	91	142.7	100	130.9	60	136.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	18.96	—
2019年3月期第2四半期	7.87	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	15,923	11,334	71.2
2019年3月期	16,373	11,252	68.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 11,334百万円 2019年3月期 11,252百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	5.00	—	7.50	12.50
2020年3月期	—	7.50	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	8.4	590	111.0	600	100.6	400	252.1	52.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	7,767,800株	2019年3月期	7,767,800株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	112,916株	2019年3月期	112,874株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	7,654,894株	2019年3月期2Q	7,655,002株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 2 四半期累計期間における国内経済は、個人消費や設備投資が景気を下支えする一方、大国間の貿易摩擦による企業活動への影響が表面化するなど、先行きに関しては不透明感が顕著となっております。

当業界におきましては、当社の業績に影響の大きい持家着工戸数が、消費税増税前の需要拡大によって、当第 2 四半期累計期間では前年を上回る状況にありますが、直近ではその一部反動と思われる動きもあり、需要動向を注視する必要があります。

このような経営環境のもと、地震台風に強い防災瓦という当社製品に共通した特長を軸に、近年増加傾向にある片流れ屋根でも防水性を高める「スーパートライ 110 タイプ I Plus」を中心とした積極的な営業活動の結果、売上高につきましては、前年同四半期比 9.6% 増の 4,436 百万円となりました。

損益面につきましては、国際的な原油価格の低下や、継続したコスト削減により当第 2 四半期累計期間における売上原価率は、前年同四半期比 0.7 ポイント減の 73.1% となり、加えて売上高の増加によって売上総利益は前年同四半期比 12.5% 増の 1,191 百万円となりました。また、販売費及び一般管理費におきましては、取引先の信用リスクの発生による貸倒引当金繰入額及び貸倒損失の増加があったものの、前年同四半期比 1.2% 増の 979 百万円と増加率は抑えられました。

その一方で、10月15日には陶板壁材「スーパートライ Wall」の新柄「ディープポーター」及び新色「水面(みなも)」を新製品として発売するなど、研究開発活動にも継続して注力致しました。

以上により、当第 2 四半期累計期間の業績は、売上高 4,436 百万円 (前年同四半期比 9.6% 増)、営業利益 212 百万円 (前年同四半期比 131.4% 増)、経常利益 218 百万円 (前年同四半期比 117.0% 増)、四半期純利益 145 百万円 (前年同四半期比 141.0% 増) の増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第 2 四半期末の資産につきましては、現金及び預金の減少 225 百万円 (前事業年度末比 12.4% 減)、棚卸資産の減少 136 百万円 (前事業年度末比 15.6% 減) 等により、15,923 百万円 (前事業年度末比 2.8% 減) となりました。

負債につきましては、短期借入金 (1年内返済予定長期借入金含む) の減少 250 百万円 (前事業年度末比 11.0% 減)、長期借入金の減少 50 百万円 (前事業年度末比 100.0% 減) 等により 4,588 百万円 (前事業年度末比 10.4% 減) となりました。

純資産につきましては、11,334 百万円 (前事業年度末比 0.7% 増) となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期累計期間における現金及び現金同等物 (以下「資金」という。) は、前事業年度末に比べて 225 百万円減少し 1,576 百万円となりました。

当第 2 四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は、124 百万円となりました (前年同四半期累計期間に比べ 108 百万円減少)。

営業活動による資金の増加要因としては、主に税引前四半期純利益 218 百万円、減価償却費 113 百万円及びたな卸資産の減少額 136 百万円等によるものです。

一方、資金の減少要因としては、主に仕入債務の減少額 204 百万円及び、未払費用の減少額 12 百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、得られた資金は、8 百万円となりました (前年同四半期累計期間に比べ 19 百万円増加)。

投資活動による資金の増加要因としては、貸付金の回収による収入 24 百万円等によるものです。

一方、資金の減少要因としては、主に有形固定資産の取得による支出 15 百万円によるものです。

(財政活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は、358 百万円となりました (前年同四半期累計期間に比べ 19 百万円増加)。

財務活動による資金の減少要因としては、主に短期借入金の減少額 100 百万円、長期借入金の返済による支出 200 百万円及び配当金の支払額 58 百万円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月7日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、当第 2 四半期累計期間の実績を鑑み、売上高につきましては防災瓦の一層の普及活動及びハウスメーカー・工務店への積極的な営業活動によって前回発表を維持する見込みであり、利益に関しましては、中東情勢によっては大きな変動が懸念されるものの、現在のエネルギーコストの水準を反映した結果、営業利益、経常利益、当期純利益は前回発表を上回る見込みであることから、下記のとおり修正します。

2020年3月期通期個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,000	490	500	340	44.42
今回修正予想 (B)	9,000	590	600	400	52.25
増減額 (B - A)	—	100	100	60	—
増減率 (%)	0.0%	20.4%	20.0%	17.6%	—
(ご参考) 前期実績 2019年3月期	8,299	279	299	113	14.84

(注) 業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位 : 千円)

	前事業年度 (2019年 3 月31日)	当第 2 四半期会計期間 (2019年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,814,270	1,588,754
受取手形及び売掛金	2,020,896	2,029,689
商品及び製品	696,382	545,728
仕掛品	47,605	51,557
原材料及び貯蔵品	132,321	142,303
その他	17,809	20,462
貸倒引当金	△6,185	△15,268
流動資産合計	4,723,100	4,363,227
固定資産		
有形固定資産		
建物 (純額)	1,095,640	1,064,062
土地	9,104,672	9,104,672
その他 (純額)	657,401	613,838
有形固定資産合計	10,857,714	10,782,572
無形固定資産	55,815	47,440
投資その他の資産		
投資有価証券	491,942	484,898
その他	244,947	244,928
投資その他の資産合計	736,889	729,826
固定資産合計	11,650,420	11,559,840
資産合計	16,373,520	15,923,067

(単位 : 千円)

	前事業年度 (2019年 3 月31日)	当第 2 四半期会計期間 (2019年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	505,658	447,784
電子記録債務	897,353	756,507
短期借入金	1,900,000	1,800,000
1年内返済予定の長期借入金	375,000	225,000
未払法人税等	125,055	115,613
賞与引当金	216,080	217,150
その他	530,451	491,039
流動負債合計	4,549,599	4,053,095
固定負債		
長期借入金	50,000	—
退職給付引当金	144,178	156,788
役員退職慰労引当金	308,295	309,222
その他	69,390	69,390
固定負債合計	571,863	535,401
負債合計	5,121,463	4,588,496
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,144,134	2,144,134
資本剰余金	2,967,191	2,967,191
利益剰余金	5,979,919	6,067,650
自己株式	△53,416	△53,434
株主資本合計	11,037,828	11,125,541
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	214,228	209,028
評価・換算差額等合計	214,228	209,028
純資産合計	11,252,057	11,334,570
負債純資産合計	16,373,520	15,923,067

(2) 四半期損益計算書
(第 2 四半期累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年 9 月 30 日)	当第 2 四半期累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 9 月 30 日)
売上高	4,048,204	4,436,296
売上原価	2,988,676	3,244,304
売上総利益	1,059,528	1,191,991
販売費及び一般管理費	967,850	979,820
営業利益	91,677	212,171
営業外収益		
受取利息	260	441
受取配当金	8,036	8,261
売電収入	6,193	7,268
その他	12,321	8,859
営業外収益合計	26,811	24,831
営業外費用		
支払利息	8,265	5,369
工場休止に伴う諸費用	4,367	7,899
その他	4,959	4,775
営業外費用合計	17,592	18,045
経常利益	100,897	218,957
税引前四半期純利益	100,897	218,957
法人税、住民税及び事業税	39,217	90,987
法人税等調整額	1,448	△17,172
法人税等合計	40,665	73,814
四半期純利益	60,231	145,142

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年 9 月 30 日)	当第 2 四半期累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	100,897	218,957
減価償却費	124,515	113,340
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,651	9,082
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,598	1,070
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8,512	12,610
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△24,936	927
受取利息及び受取配当金	△8,297	△8,703
支払利息	8,265	5,369
売上債権の増減額 (△は増加)	△50,471	△8,793
たな卸資産の増減額 (△は増加)	52,382	136,720
仕入債務の増減額 (△は減少)	△31,575	△204,637
その他	75,798	△53,999
小計	263,339	221,945
利息及び配当金の受取額	8,296	8,702
利息の支払額	△9,941	△6,956
法人税等の支払額	△28,615	△99,248
営業活動によるキャッシュ・フロー	233,079	124,442
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,742	△15,751
有形固定資産の売却による収入	4,560	320
貸付金の回収による収入	—	24,000
その他	△571	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,753	8,568
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△100,000	△100,000
長期借入金の返済による支出	△200,000	△200,000
自己株式の取得による支出	—	△17
配当金の支払額	△38,952	△58,509
財務活動によるキャッシュ・フロー	△338,952	△358,527
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△116,626	△225,516
現金及び現金同等物の期首残高	1,806,961	1,802,270
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,690,334	1,576,754

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)及び当第2四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

当社は、粘土瓦の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。